

県外派遣報告書

審判員名	山岸 大輔	所属	高体連
大会名	平成25年度 関東高等学校バスケットボール新人大会		
期間	平成26年2月8日(土)・9日(日)		
会場	千葉県船橋市総合体育館・八千代市市民体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
2月7日(金)	審判会議	八千代市緑が丘公民館	
2月8日(土)	関東大会1・2回戦	八千代市市民体育館	
2月9日(日)	雪のため中止		
会議 講義 内容			
<p>審判会議におけるレクチャーは東京の野口浩正氏と本県の山崎人志氏。「自分をほんの少し変えて」という題で、とくに①気づく力、②プレッシャー・不安と戦う力、の2点について講義があった。①に関して、「審判の最低限の仕事が気づき、足を運び、確認し、判定をすること。何も気づかないことこそが大問題であり、努力もしなくなる。気づきを増やし、足を運んで確認する努力を。そのためにはゲーム中の情報収集やパートナーとの協力が大切である」とのこと。また②に関しては、お二人の過去の失敗例をお話いただき、不安を少なくするためには、ゲーム前の十分な準備と経験が必要であるとのことでした。</p>			
実技			
担当試合	期 日	2月8日(土)	男子 女子
	対戦カード	千葉英和(千葉) VS 八雲学園(東京)	女子
	相手審判	主審 副審	
ミーティング内容		主任 三好 啓太 氏(千葉)	
<p>ゲームの入りからリバウンドに関するファウルやトラベリングなど良い判定があったが、全体的に、身体の寄せ方や手の使い方、ショットに関する見極めや足もとなど、もっと基準を厳しくし、フエを鳴らした方が良かった。いろいろところで様々なコンタクトがあり、足を運んで確認する努力がもっと必要。ボール運びの際はもう少し2人の協力を。</p>			
全体の感想			
<p>野口・山崎両氏のレクチャーに「気づきを増やす」とありましたが、自分の担当したゲームでは、この気づきが遅れ、そのために正しく判定できていないケースがありました。改善に努めたいと思います。また、埼玉県内だけでなく、関東の多くの方々に気にかけていただいていると大変実感した関東大会となりました。ある方からは、「上級になるためにもっとがむしゃらに頑張っている山岸を6月・7月に見たい」とお話をいただき、次にお会いするときは成長した姿を見せたいと強く思いました。派遣していただいた埼玉県審判委員会には心より御礼申し上げます。皆様の期待に応えられるよう、目の前の事象ひとつひとつから頑張っていきたいと思っております。また、今回は大雪のため大会運営が大変な中、千葉県の方々には大変お世話になりました。</p>			